



**TRAM SYSTEM**

**NEWS LETTER**

**Ver. 2014. 08**

## 今月のコンテンツ



### ノートPC

#### ◎ Microsoftが本気を出した最新端末

- ・Surface Pro3の実力を探る

Administrator

Password:

### パスワード


#### ◎ パスワード問題に画期的な解決策

- ・写真がパスワードに！？

### ロボット

#### ◎ ロボットと人工知能

- ・近い将来人間の仕事がなくなる？



例年どおりならば秋に開催されるはずの新 iPhone 発表イベントは、今年9月9日になりそうです。アップルの正式な発表ではなく「詳しい筋から得た証言」にすぎませんが、ほぼそのあたりで間違いないだろうと言われています。仮に9月9日に公式発表となった場合、発売は9月末～10月頃になりそうです。

公式では無く「うわさ」では画面が4.7インチと5.5インチの2タイプを出してくると言われてます。「4s」までは3.5インチ、「5」が4インチと画面の大型化が現在の主流みたいですね。

## ◎ Microsoftが本気を出した最新端末

### ・Surface Pro3の実力を探る

2014年7月に日本国内で発売された「Surface Pro3」。前モデルがタブレットとノートPCの中間に位置するようなデバイスだったのに対して、「Surface Pro3」はノートPCを完全に置き換えてしまえるほどの機能と性能を搭載しています。

それでは各メディアが「Microsoftが本気を出した」と言われるその実力を見ていきましょう。

まず画面は12インチ、厚さが0.91cmで封筒に入るCMが衝撃的だったMacBook Airよりも30%薄く、重さが798gで前モデルから100g以上の軽量化に成功しています。キーボードは保護カバーも兼ねており、磁石を使った脱着式なので取付、取り外しが楽になっていますね。



最大150度まで調節可能なキックスタンドであらゆる視聴角度をサポートしています。



Penの頭をポチっとなすとデバイスが起動します。

注目は256段階の筆圧感知で、ユーザーは自然な書き心地を実感できるとの事。

スペックは以下の通りで、ノートPCとして見ても十分なスペックです。  
 CPU: Intel core i3/i5/i7 SSD: 64/128/256/512GB メモリ: 8GB/4GB  
 PhotoShopなどの大容量ソフトを使っても重いと感じることはありません。ただこれだけのスペックを搭載して厚みが0.91cmだと問題となってくるのは排熱処理です。前モデルより排熱効率が30%上昇したようですが、それでも高負荷をかけ続けるとやっぱり熱くなってしまいます。

## ◎ パスワードに画期的な解決策

### ・写真がパスワードに！？



パスワードを何にするか。これは現代人みんなに共通する悩みだと思います。簡単すぎるものは危険ですが、長く難しいと忘れてしまいます。かと言ってメモってしまうと今度はそのメモをどう管理すればいいのかなど考えると結局「いつものでいいか・・・」となりがちですよ。そもそもパスワードの生みの親でもあるフェルナンド・J・コルバト自身ですら、パスワードはもう限界にきていると述べています。しかしつい先日、ベガスで行われた「サイバーセキュリティ会議」でパスワードに取って代わるかもしれない斬新なアイデアが発表されました。

それが、写真なんです。

しかもこのアイデアを発表した人物はまだ高校生だというから驚きです。まだ18歳ながら、すでにオーストラリア国防信号総局でプロジェクトをこなしたこともあるんだとか。

彼が今回発表したのは「uSig」と呼ばれるプログラムで、文字のパスワードの代わりに写真を使って照合を行います。ユーザーが自分のスマホやPCから写真を選ぶと、アプリがそれを512文字もの長い文字列に変換してくれるというものです。

写真であれば簡単に覚えれそうですし、512文字のパスワードなら「誕生日に毛が生えたようなパスワード」よりはよっぽど安心です。これはリリースが待ち遠しいですね。



なつかしのドラ○エIIの最強パスワード  
ハッカーがパスワード解析して入手したものが世に出回ったようです。

## ◎ ロボットと人工知能

### ・近い将来人間の仕事がなくなる？



軍事兵器から墓守まで1体でこなすロボット  
日本人が作るとまづは会話できるように  
するんではないかな・・・

ロボットや人工知能(AI)の進化はめざましく、人間の生活をより便利にしてくれることが期待されています。しかし、ロボットが進化して人間の仕事を代替することで、ロボットに仕事を奪われる労働者が出てくるといふ不安も次第に主張されるようになっていきました。様々な分野の識者1896人への大規模な調査結果では、48%の識者が2025年までにホワイトカラー・ブルーカラー問わず大部分の仕事がロボットに取って代わられると回答し、所得の格差が今以上に広がる可能性を強く懸念しています。「ロボットと人間との競争では人間が必ず負ける」と断言する識者もあり、地域の人に関わる仕事や、高度な思考や信頼関係が求められる一部の仕事を除いて自動化の荒波に巻き込まれるとの見解を示しています。

逆に、全体の52%が「ロボットに取って代わられる仕事はあるものの、仕事を奪われるという事態にまではならない」と回答しました。

「歴史を振り返ってみても、技術革新は雇用を創出するものでこそあれ、雇用を破壊するものではない」と述べており、ロボットやAIの技術が進化することで新しい仕事が生み出される効果に期待しています。また、掃除機や食洗機の登場によって奪われた「仕事」はむしろ歓迎すべきことではと考える識者もいました。とはいえ、ロボットやAIを無視出来ない時代は既に始まっています。

人間にしかできない「仕事」を考え、行動に移していかなければ時代に飲み込まれてしまうかもしれません。





トラムシステム株式会社

〒465-0063

愛知県名古屋市名東区新宿2丁目55番地

TEL:052-701-2634

FAX:052-701-2637

Mail : [info@tramsystem.jp](mailto:info@tramsystem.jp)